

地域への愛が生んだ玉名市の新名所 金栗瀬戸口公園の遊歩道

金栗四三さんが後半生を過ごし、住家やお墓が残る小田地区。大河ドラマ「いだてん」効果もあり、多くの観光客でにぎわう中、住民の皆さんが「もっと小田地区を楽しんでもらいたい」と、金栗瀬戸口公園にある山部田池の周囲に散策路を手作りしました。

切り開かれた竹林の中、心地よい風が吹き抜ける遊歩道は、訪れた人も手作りという驚くほどの仕上がり。休憩できるベンチも設置されています。



▲㊦関章さん、㊦一瀬憲司さん

山部田池を覆う枯れている竹林を
手作業で切り開き、初日には10坪
分を伐採。「きつと挫折するだろ
う」と半信半疑ながらも日々作業を
続け、周囲に協力を呼びかけると「小
田のために」という一心で住民が
集結。伐採した竹は粉碎して敷き
詰め、道を作りました。重機を持
つ人も加わり、作業は加速。「でき
るかも」日に日にその気持ちが大
きくなり、作業の手は止まりませ

小田愛で集まったボランティア

金栗瀬戸口公園は、金栗四三さん
もよく訪れた場所。涼んだり、
家族と池で遊泳したりしていたそ
うです。昨年10月「多くの人が訪
れる場所にしたい」と、小田地区
金栗四三PR推進部会の一瀬憲司
さん（68）と関章さん（68）はじ
め5人で遊歩道作りを始めました。

金栗さんに背中を押されて

遊歩道を作る話は、小田地区の
中で20年程前から出ていたとのこ
と。きつかけがなく、誰も踏み出
しませんでした。「小田にはなにもな
いと思っていたんです。でも、金
栗先生が大河ドラマの主人公にな
り、あらためて先生の偉業や素晴
らしさを知ったときに、先生が過
ごした小田地区には、住民で守っ
てきた自然や文化があることに気
づきました。小田に多くの人が訪
れ、地域に元気が出ると嬉しいで
す」と話す一瀬さんと関さん。金
栗さんが小田地区の皆さんの背中
を押し、地域の魅力を再発見する
きっかけとなっています。

蛭が舞う姿も見れる公園

公園には湧き水があり、キャンプ
やバーベキューもできます。5月末
から6月には、蛭が舞う姿も。金栗
さんの住家から徒歩5分のこの場所、
初夏を楽しみに金栗さんゆかりの地
を巡ってみてはいかがでしょうか。



2



1

- 1 キャンプやバーベキューができる金栗瀬戸口公園。手前の橋を渡ると遊歩道に続く
- 2 遊歩道から見る山部田池